

山形大学附属学校園だより 六 稜

2024. 3. 11

【発行】
山形大学附属学校園【印刷】
坂部印刷株式会社

第19回全附P連絵画コンクール2023(中学校・高等学校部門) 特別賞
山形大学附属中学校1年 小笠原陽菜
『山形大花火大会 2023』



第83回全国教育美術展 特賞
山形大学附属中学校2年 佐藤 はな
『まだ見ぬ世界を求めて』

予測困難なことが起きる社会にあつて、状況に応じながら附属学校園が柔軟な教育活動を展開する上で大切なのは、各校園に関わる方々の考えに耳を傾け、理解を得ていくことだと考えています。そのため、令和6年度から附属学校園が地域と関わっていくための取組である「山形大学附属学校園コミュニティ・スクール構想」を開始します。その第一歩として「学校運営協議会」を設置し、附属学校運営部と附属学校園の学校経営に対して意見をいただいて参ります。学校運営協議会の委員の皆様からの意見を踏まえながら、山形大学附属学校園の教育活動の充実・発展を達成していきたいと考えています。これからは、附属学校園が「地域」に関わっていくことが、各校園の教育をよりよいものとし、「地域づくり」を進めるためにも重要になってくると考えています。これまで以上にPTA及び同窓会、翠稜会の皆様のご協力を仰ぐことが多くなると思いますが、ご理解・ご協力いただければ幸いです。

附属学校園のPTA及び同窓会、翠稜会の皆様には、日頃から格別のご支援とご協力をいただき、あらためて御礼申し上げます。私たちが想定していた時間を大きく超えて長期にわたったコロナ禍も、ようやく収束に向かいつつあります。いろいろな犠牲を払いながらも、平穏な日常の大切さを認識した貴重な時間でもあったように感じています。この間、附属学校園においては、新型コロナウイルス感染が大きな広がりをもつことはありませんでした。これも、各校園の取組や要望に対する皆様のご理解とご協力があつてこそのもので感謝いたしております。

コロナ禍においては、これまでの教育活動の見直しが迫られました。「従来どおり」が通用しない状況において、今までやっていた方法を変えざるを得なくなったり、縮小したり取りやめたりすることが数多く出ました。これに加えて、令和5年度の夏は、例年と比較できない猛暑に見舞われました。子どもたちの安全を守るために、活動を縮小・中止しなければならぬ状況に置かれ、夏の行事を秋以降に移すなど、教育課程の大きな変更を多くの学校が行いました。このような予測しがたい状況に対して、それまでの考え方・方法にとらわれることなく、自由で広い視野から各校園の教育活動を見直し、充実を図る機会と捉えていくことが大事であることを実感させられる年になりました。

附属学校園の 良さを生かす



附属学校運営部長
三浦 登志一



つくしの家おしゃべりの会(特PTA)



PTA研修会(中PTA)



保護者奉仕作業(小PTA)



親子行事(幼PTA)

平素よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
今年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、感染防止に努めながら対面での行事が少しずつ行えるようになった1年でした。4年ぶりに対面での開催となったPTA総会では、活動報告と予算の承認を頂きました。
学年委員会を中心に行った「ふよふよの集い」のほか、2年ぶりとなった「親子行事」では、保護者の皆さま、先生方のご協力のもと無事に開催することができました。行事部では、降園時に交通安全の立哨活動を行いました。広報部では、広報誌「園じよい」の編集・発行などを行い、子ども達の園生活について情報発信を行いました。図書部では、蔵書の管理やお勧め本の紹介などを行いました。また、保育サポートではカレー会食やフェスティバルの小道具づくりなど、さまざまな行事においてサポートいただきました。今年度は開園百二十周年を迎え、式典のほか関連する行事を行うことができました。今後、老朽化した大型遊具の更新も予定されており、山形大学基金での寄付受付も始まりました。遊具の計画には、山形大学工学部の学生さんにもご協力いただいております。引き続き、子ども達が充実した園生活を送れますよう、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今年度のPTA活動

附属小学校PTA会長 長谷川吉之介

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。
今年度のPTA活動は、5月より新型コロナウイルスが5類に分類されたこともあり、コロナ禍において制限を余儀なくされていた活動を少しずつ再開した年度となりました。まず、コロナ禍前には行っていた学年ごとの保護者懇親会を、学年の先生方もお招きして開催しました。開催が初めての学年もあり、保護者同士が知り合って言葉を交わし、また、先生方から子ども達の日々の様子を聞くことで、様々な繋がりを強くするいい機会になったのではないかと思います。
各専門部の活動として、学級委員長、総務部は連携して上記懇親会の設営をしていただきました。また、今年度は4年ぶりに卒業を祝う会(謝恩会)を開催予定で、先生方に感謝をお伝えし、卒業の区切りとなる素晴らしい会になるよう鋭意準備を進めております。広報部は学内広報誌の作成を担当いただき、今年度も発行いただきました。安全部は朝の登校時の立哨指導を月2回行っています。研修部はフリーアナウンサーの菊地喜美子先生をお招きし「親子で心がまるくなる言葉」を演題とする研修会を開催しました。体育部は、4年ぶりに通常開催となったみどりSFでのサポートと、校外ソフトボール大会へ参加いただきました。母親委員会は、制服リユース会の開催、市P連等の外部研修会への参加等活動いただいております。
これからも、子ども達の健全な育成のために、持続可能なPTA活動の在り方を模索しながら、活動を継続して参ります。引き続きのご協力を宜しくお願い致します。

withコロナ元年のPTA活動

附属中学校PTA会長 浅野 和宏

日頃よりPTA活動に對しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が五類へと移行したことに伴い、三年ほど続いた移動や対面の制約が解除され、社会活動、経済活動、教育活動など様々な活動が本格的に再開されてきております。
今年度は、PTA活動においてもwithコロナ元年として、少しずつ再開に向け歩を進めることができました。総務部による学年懇親会の企画・運営、体育部による運動会の運営補助、残念ながら雨天により中止となりましたが市P連主催のソフトボール大会への対応、広報部による附中だよりの発行、母親委員会による制服リユース販売と「ぞうきんプロジェクト」の実施など、多くの皆様のお力添えにより実施することができました。
令和2年度より実施している「ぞうきんプロジェクト」は、各ご家庭より使い古しのタオルをご寄付いただき、制服リユース会における売上代金を元手に、山形市内事業所へ雑巾作成業務を委託し、完成した雑巾を本校での清掃活動に利用するという取組みです。
このプロジェクトは、生徒や保護者が身近に社会貢献を実感できるとともに、資源の有効活用や雇用創出にもつながり、「家庭」「学校」「事業所」をぞうきんがつなぐ「三方よし」を実現しており、SDGsの実践にも欠かせない重要な価値をもたらしているのではないかと思います。本校PTAにおける持続可能な活動の一つとして今後も継続していくことを願っています。
結びに、今後も子ども達が安心・安全に学校生活を送れるよう、目まぐるしく変化していく時代の流れに柔軟に対応しながらPTA活動を実施してまいりますので、皆様方から変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年度のPTA活動のお礼

附属特別支援学校PTA会長 伊藤 靖典

早いもので今年度ももうすぐ一年が過ぎようとしています。今年度、会長として務めさせていただき至らない点が多々あったと思いますが、役員の皆様をはじめ諸先生方、保護者の皆様のご協力のおかげでなんとか任を終えようとしています。
一昨年度、新型コロナウイルスの影響で様々な活動に制限があり、先生方や保護者の皆様にも対応に苦慮されたと思います。制限が緩和され、今年度は、修学旅行も県外に行くことができ、活動の幅も大分広がりました。今すぐにコロナ前の活動に戻すことはできないと思いますが、これからは子ども達の健康第一、ウィズコロナでPTA活動に取り組んでいってほしいと思います。
私自身、PTA活動を通じて、人と人との繋がりを感ずることができ、充実した一年でした。本当にありがとうございます。
最後に、子ども達のため、来年度は更に充実したPTA活動ができることを期待しております。



幼稚園との交流及び共同学習



小学校との交流及び共同学習



交流及び共同学習(中・特)



部活動見学(中・小)



給食交流会(幼・小)



家庭科交流(幼・中)



今年度の附属中学校

5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことを受け、授業や行事、生徒会活動等を、生徒の想いを大切にしながら、その意義や必要性を改めて見直し、新しい形を模索しながら実施するなどして教育活動を行ってきました。

入学式は、新入生と保護者に加え、来賓2名をお招きして実施しました。市中総体では、サッカー部、剣道部、陸上部が上位入賞し、県大会へ出場しました。市中新人大会では、剣道部、陸上部が好成績を収めました。

また、運動会では、応援や競技に全力で取り組む姿を、合唱コンクールでは学級毎の美しい歌声を披露しました。

研究では、新たな研究主題のもとで研究をスタートしました。5月には学習指導研究協議会を実施し、県内外400名以上の方に参加していただき、学びを深めました。

今後も、保護者をはじめ、多くの方々のご協力とご理解を得ながら、生徒一人一人の育成に邁進してまいります。

研究テーマ「生徒が『学びの主体』となる授業の共創」

主な行事と日程

- 4月8日 入学式
- 4月28日 授業参観、PTA総会
- 5月15日 開校記念式典
- 5月25・26日 学習指導研究協議会
- 7月7日 運動会
- 7月20日 授業参観
- 10月30日 合唱コンクール
- 12月9日 授業参観、PTA研修会
- 2月2日 制服等リユース会



今年度の附属幼稚園

今年度は、コロナ感染症の取扱が5類に移行したことから、行事等は可能な範囲ではありますが、コロナ以前の取組も行えるようになってきました。昨年度まで自粛していた「食育」についても、給食の開始と併せて、保護者にも協力いただきながら進めることができました。6月に開催した「遊びと学びフォーラム」には、約100名の方々に参加いただき、子どもの育ちや保育者の援助について好評をいただきました。また運動会は、猛暑のため練習に取り組む時間がとれず、一部競技を別日に移して実施するなど工夫が必要となりました。日常の保育や各種行事を通して、園児の大きな成長がみられた1年となりました。

大学との連携においては、「創立120周年記念コンサート」や「オペレッタ」、「ピクニックコンサート」、「食に関わる指導と手作りおやつ提供」など、年間を通じて展開することができました。教育実習とともに、教員を志望する学生にとって貴重な経験となっています。引き続き、本園教育に対するご理解とご協力をお願いいたします。

研究テーマ「遊びがうまれる環境構成」

主な行事と日程

- 4月26日 PTA総会
- 4月29日 園外保育(年少・年中:馬見ヶ崎川/年長:盃山)
- 6月8日 遊びと学びフォーラム
- 9月16日 運動会(9月22日 年長リレー)
- 10月11・12日 園外保育(近隣公園、千歳山)
- 12月6・13・20日 ステージフェスティバル
- 1月17日 もちつき会食
- 2月15日 年長さんありがとうの会



今年度の附属特別支援学校

少しずつコロナ禍以前の活動を実施できるようになりました。修学旅行では中学部は宮城・仙台、高等部は関西・大阪と山形県を飛び出し、それぞれの文化や歴史に数多く触れ貴重な体験や経験を得ることができました。

また全学部とも体験的な学習を大切にしてきました。小学部では生活科で学校の周りを探検したり、山形市民防災センターなど見学したりして地域や自分の生活に目を向けながら学習を進めました。中学部では、総合的な学習の時間で悪戸芋について調べ、実際に植え付けから収穫までを体験したり、社会科や理科で博物館やプラネタリウムを見学に行ったりして自分たちの身の回りの産業や公共施設の利用についてさらに学びを深めました。高等部では自分の将来の生活や自分の課題を考えながら校内実習や現場実習に取り組みしました。また、経験を活かし、作業学習で作った製品を売る販売会を開いたり、総合的な探究の時間で植樹やゴミ拾いを行ったりと環境について自分たちにもできることを考えて実行しました。

今後も本校教育に対するご理解とご協力をいただきながら児童生徒の育成に取り組んでいきます。

研究テーマ「一人一人が自己の学びを実感し、生活していく姿を求めて」

主な行事と日程

- 4月29日 PTA総会
- 5月19日 スクールコンサート
- 7月6日 ふれあいタイム①
- 9月21日 ふれあいタイム②
- 10月12日 ふれあいタイム③
- 10月18日 学習指導研究協議会
- 11月2日 PTA研修会(施設見学)
- 11月2日 ふれあいタイム④
- 12月7日 ふれあいタイム⑤



今年度の附属小学校

子どもたちは、「チャレンジしながら笑顔を開き、心を開くくさせよう」を大テーマに掲げ、みのり班活動に代表される異学年での学びを充実させることができました。

みのりスポーツフェスティバルでは、さわやかな秋空のもと、全校児童がグラウンドに集まり、学年部の競技やみのり班対抗長縄跳びに精一杯取り組みました。最後の最後まで、どの組が優勝するのかかわからない展開に、保護者の皆様からも心温まる応援をたくさんいただくことができました。

研究では、各教科において子どもたちが見方・考え方を働かせて(鍛えて)問題解決を進める姿をめざし、春と秋に研究協議会を実施しました。また、第62回全国学校体育研究大会では、2年生と6年生の授業を公開しました。

研究テーマ「自ら問題解決を進める子ども」

主な行事と日程

- 4月22日 PTA総会
- 5月19日 開校記念式
- 6月16日 学習指導研究協議会
- 6月23日 みのり遠足
- 9月30日 みのりスポーツフェスティバル
- 11月2日 第62回全国学校体育研究大会
- 11月10日・17日 秋の研究協議会
- 3月1日 6年生を送る集会

編集後記

5月にコロナウイルス感染症が5類感染症となったことを受け、引き続き感染対策を行いながらも、PTA活動や学校の諸活動が充実した年になったのではないのでしょうか。四校園の活動につきまして拝読しますと、対面でのPTA総会や研修会、親子行事、県外への修学旅行など、様々な活動がコロナ禍前の形に戻りつつあることを喜ぶと共に、持続可能なよりよい活動の在り方を模索しているという姿勢が読み取れます。

これまで以上に変化の大きな時期ですが、幼児児童生徒の学びや各校園のPTA活動がさらに充実されるよう、心から願っております。最後になりますが、大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様へ感謝申し上げます。編集後記といたします。

編集委員

林 ますみ(幼)
小川 恵利(幼)
二井しのぶ(小)
宇賀神陽子(小)
菅 光子(中)
福井 雅子(中)
鏡 陽子(特)
濱本 志摩(特)
阿部 恵太(特)